

広島市植物公園 見どころ案内

2020年4月18日
通巻第458号

ゴールデンウィーク
イベント・ローズフェス
ティバルは全て中止と
なりました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、5月17日まで大温室を含む全ての温室、展示資料館、休憩展望塔の公開を中止しています。また、それに伴う展示会・実演会など全ての行事を中止しています。森のレストラン、森のカフェ、売店、花売店も閉鎖しています。

キビヒトリシズカ (センリョウ科)

ヒトリシズカに似ていますが、白いブラシのような部分(葯隔 おしべの一部)の長さが長い等から区別できます。岡山県の吉備地方で発見されたことからこの名が付けました。

オオシマザクラ (バラ科)

花の進化園を登り切ったところにあるオオシマザクラの大木は開花が遅く、今週が見頃となりそうです。樹形もよく見応えがあります。

クリサンセマム

ヒメキンギョソウ

マイヅルソウ (ユリ科)

(ユリ科)

白い小さな花が咲き始めました。「葉脈の曲がり方を鶴の羽に見立てた」や、「2枚の葉の広がりをも鶴に見立てた」ことが名前の由来とされています。

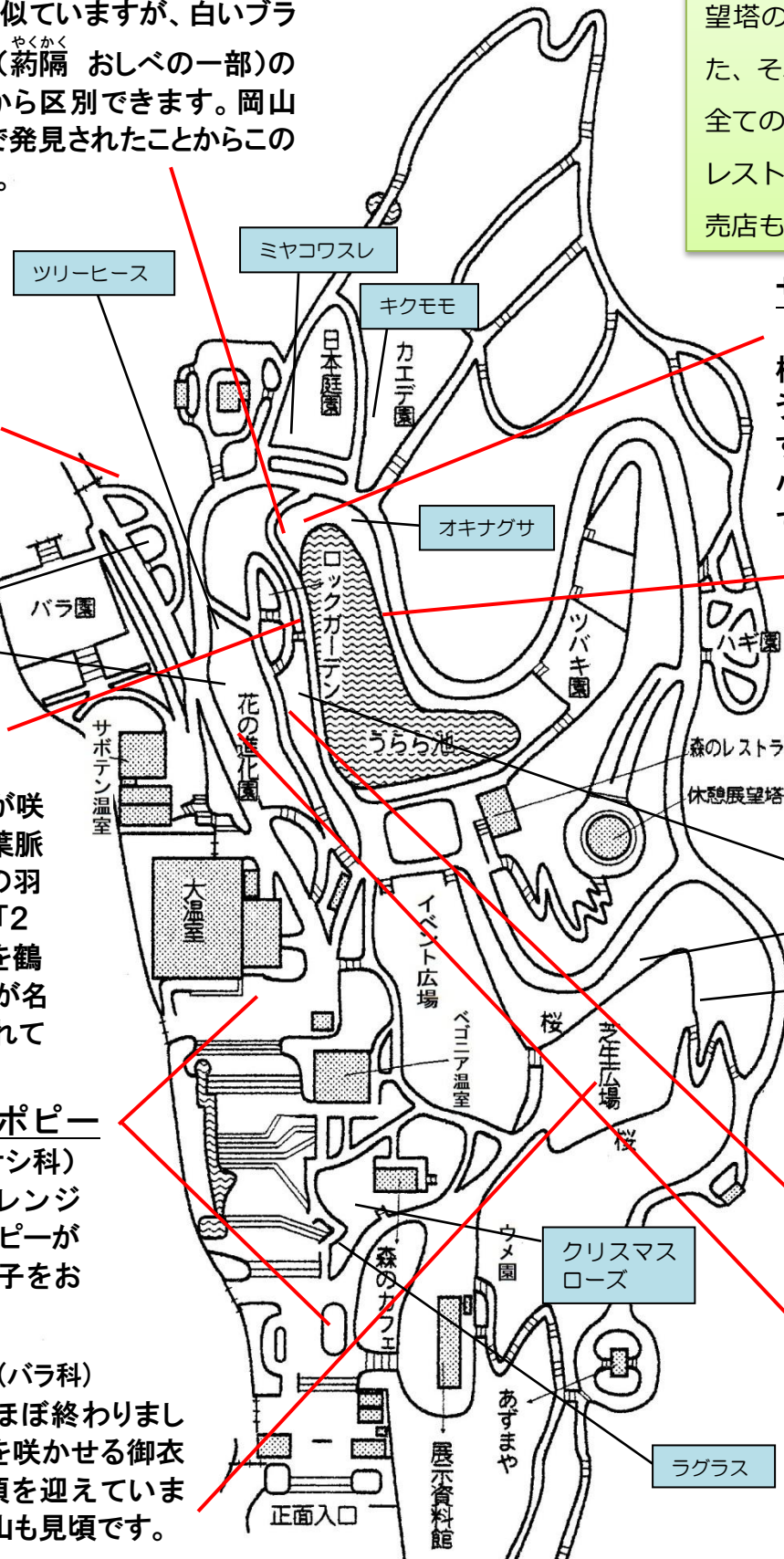
アイスランドポピー (ケシ科)

(ケシ科)

白、黄色、オレンジのアイスランドポピーが風に揺られる様子をお楽しみください。

サクラの仲間 (バラ科)

ソメイヨシノはほぼ終わりましたが、黄色い花を咲かせる御衣黄や鬱金が見頃を迎えています。八重桜の関山も見頃です。



サクラソウ (サクラソウ科)

日本の古典園芸を代表する植物「サクラソウ」の野生種をうらら池周辺に植栽しています。屋外展示場では規模を縮小してサクラソウ展を開催しています(今月22日まで)。

ザイフリボク (バラ科)

近くのサクラに目を奪われて見逃しがちですが、白い細長い花が多数咲いています。名前は花の様子が採配を振っているように見えることに由来します。

エビメディウム

リキュウバイ

カリン

ツツジ・シャクナゲの仲間 (ツツジ科)

大輪のピンク色の花を咲かせるクロフネツツジ、八重咲きのヨドガワツツジ、赤い花を株一面に咲かせているシャクナゲ「太陽」などが見頃です。

ネモフィラ (ムラサキ科)

花の進化園のネモフィラが満開です。今年から登場したレストラン前のネモフィラ花壇ももうすぐ見頃を迎えます。